

令和3年度決算における

【連結財務書類】

横 瀬 町

令和03年度

連結貸借対照表

(令和04年03月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	18,529,150,330	固定負債	7,576,396,977
有形固定資産	17,151,324,623	地方債等	5,804,621,985
事業用資産	7,949,443,422	長期未払金	-
土地	4,552,038,684	退職手当引当金	854,742,409
立木竹	294,693,715	損失補償等引当金	-
建物	7,237,902,253	その他	917,032,583
建物減価償却累計額	△4,685,718,677	流動負債	1,103,877,810
工作物	814,404,772	1年内償還予定地方債等	432,807,514
工作物減価償却累計額	△290,466,577	未払金	98,404,350
船舶	-	未払費用	4,600,216
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	56,122,214
航空機	-	預り金	511,633,747
航空機減価償却累計額	-	その他	309,769
その他	7,973,856	負債合計	8,680,274,787
その他減価償却累計額	△7,973,856	【純資産の部】	
建設仮勘定	26,589,252	固定資産等形成分	19,975,474,034
インフラ資産	8,630,936,110	余剰分(不足分)	△6,992,673,191
土地	1,257,518,875	他団体出資等分	6,000,000
建物	1,597,431,084		
建物減価償却累計額	△488,426,634		
工作物	11,931,394,041		
工作物減価償却累計額	△6,285,775,598		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	618,794,342		
物品	1,362,490,352		
物品減価償却累計額	△790,809,388		
物品減損損失累計額	△735,873		
無形固定資産	239,814,968		
ソフトウェア	8,849,840		
その他	230,965,128		
投資その他の資産	1,138,010,739		
投資及び出資金	580,236,959		
有価証券	5,000,000		
出資金	5,511,400		
その他	569,725,559		
長期延滞債権	69,684,150		
長期貸付金	44,547,000		
基金	448,220,317		
減債基金	-		
その他	448,220,317		
その他	-		
徴収不能引当金	△4,677,687		
流動資産	3,139,681,952		
現金預金	1,484,671,182		
未収金	192,571,076		
短期貸付金	-		
基金	1,451,890,926		
財政調整基金	1,339,543,926		
減債基金	112,347,000		
棚卸資産	8,755,653		
その他	2,260,857		
徴収不能引当金	△467,742		
繰延資産	243,348		
資産合計	21,669,075,630	純資産合計	12,988,800,843
		負債及び純資産合計	21,669,075,630

令和03年度

連結行政コスト計算書

自 令和03年04月01日

至 令和04年03月31日

(単位:円)

科目	金額
経常費用	6,485,254,712
業務費用	3,113,662,569
人件費	1,057,178,720
職員給与費	865,434,355
賞与等引当金繰入額	54,535,955
退職手当引当金繰入額	8,783,064
その他	128,425,346
物件費等	1,937,059,260
物件費	1,202,722,827
維持補修費	178,810,304
減価償却費	554,411,738
その他	1,114,391
その他の業務費用	119,424,589
支払利息	40,257,759
徴収不能引当金繰入額	4,290,952
その他	74,875,878
移転費用	3,371,592,143
補助金等	2,248,148,544
社会保障給付	1,062,815,750
その他	63,865,849
経常収益	660,440,323
使用料及び手数料	275,823,435
その他	384,616,888
純経常行政コスト	5,824,146,065
臨時損失	10,640,048
災害復旧事業費	-
資産除売却損	6,691,574
損失補償等引当金繰入額	-
その他	3,948,474
臨時利益	254,111
資産売却益	109,809
その他	144,302
純行政コスト	5,834,532,002

令和03年度

連結純資産変動計算書

自 令和03年04月01日

至 令和04年03月31日

(単位:円)

科目	合計	連結純資産		
		固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	12,320,748,496	18,616,147,306	△6,296,401,110	1,000,000
純行政コスト(△)	△5,834,532,002		△5,834,532,002	-
財源	6,359,508,085		6,359,508,085	-
税収等	3,853,875,694		3,853,875,694	-
国県等補助金	2,505,632,391		2,505,632,391	-
本年度差額	524,976,083		524,976,083	-
固定資産等の変動(内部変動)		1,335,240,636	△1,339,982,823	
有形固定資産等の増加		1,681,783,558	△1,681,783,558	
有形固定資産等の減少		△570,585,630	570,585,630	
貸付金・基金等の増加		349,635,302	△349,635,302	
貸付金・基金等の減少		△125,592,594	120,850,407	
資産評価差額	-	-		
無償所管換等	29,647,446	29,647,446		
他団体出資等分の増加	-			-
他団体出資等分の減少	-			-
比例連結割合変更に伴う差額	114,717	5,868	108,849	-
その他	113,224,612	-	113,224,612	-
本年度純資産変動額	663,220,671	1,364,893,950	△701,673,279	-
本年度末純資産残高	12,983,969,167	19,981,041,256	△6,998,074,389	1,000,000

【様式第5号】

附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

① 有形固定資産の明細

(単位:円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	差引本年度末残高 (D)-(E) (G)
事業用資産	12,127,279,619	971,322,693	164,999,780	12,933,602,532	4,984,159,110	189,493,696	7,949,443,422
土地	4,555,273,390	0	3,234,706	4,552,038,684	0	0	4,552,038,684
立木竹	297,054,774	0	2,361,059	294,693,715	0	0	294,693,715
建物	6,410,684,857	931,117,393	103,899,997	7,237,902,253	4,685,718,677	138,028,544	2,552,183,576
工作物	778,053,472	40,205,300	3,854,000	814,404,772	290,466,577	50,833,064	523,938,195
船舶	0	0	0	0	0	0	0
浮標等	0	0	0	0	0	0	0
航空機	0	0	0	0	0	0	0
その他	7,973,856	0	0	7,973,856	7,973,856	632,088	0
建設仮勘定	78,239,270	0	51,650,018	26,589,252	0	0	26,589,252
インフラ資産	14,710,691,135	769,999,453	75,552,246	15,405,138,342	6,774,202,232	296,011,250	8,630,936,110
土地	1,238,724,323	19,161,755	367,203	1,257,518,875	0	0	1,257,518,875
建物	1,580,031,531	17,802,118	402,565	1,597,431,084	488,426,634	31,431,221	1,109,004,450
工作物	11,466,068,747	482,003,890	16,678,596	11,931,394,041	6,285,775,598	264,580,029	5,645,618,443
その他	0	0	0	0	0	0	0
建設仮勘定	425,866,534	251,031,690	58,103,882	618,794,342	0	0	618,794,342
物品	1,301,747,697	80,873,611	20,130,956	1,362,490,352	795,273,116	51,705,675	567,217,236
合計	28,139,718,451	1,822,195,757	260,682,982	29,701,231,226	12,553,634,458	537,210,621	17,147,596,768

連結財務書類における注記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和 59 年度以前に取得したもの・・・再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

イ 昭和 60 年度以後に取得したもの

・取得原価が判明しているもの・・・取得原価

・取得原価が不明なもの・・・再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

② 無形固定資産・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

・取得原価が判明しているもの・・・取得原価

・取得原価が不明なもの・・・再調達原価

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的有価証券

該当なし

② 満期保有目的以外の有価証券

該当なし

③ 出資金

ア 市場価格のあるもの・・・該当なし

イ 市場価格のないもの・・・出資金額

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

原材料、商品等・・・最終仕入原価法

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）・・・定額法

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

a 事業用資産

建物（建物附属設備含む） 10～50 年

工作物 8～50 年

b インフラ資産

建物（建物附属設備含む） 10～50 年

工作物 5～60 年

c 物品・ソフトウェア 2～22年

ただし、一部の連結対象団体については定率法によるものもあります。

- ② 無形固定資産（リース資産を除きます。）・・・定額法
- ③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

過去5年間の平均不納欠損率に基づく徴収不能見込額を計上しています。

② 退職手当引当金

期末自己都合要支給額から埼玉県市町村総合組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうち横瀬町へ按分される額を加算した額を控除した額を計上しています。

③ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引

（リース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理を行っています。

イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っています。

(7) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

(8) 連結対象団体（会計）の決算日が一般会計等と異なる場合の処理

連結対象団体については当該連結対象団体の決算を基礎として連結手続を行っていますが、決算日と連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っています。

2 重要な会計方針の変更等

令和3年度においては、変更はありません。

3 重要な後発事象

(1) 主要な業務の改廃

該当なし

(2) 組織・機構の大幅な変更

該当なし

(3) 地方財政制度の大幅な改正

該当なし

(4) 重大な災害等の発生

新型コロナウイルス感染症拡大の影響等から、感染症対策として実施した特別定額給付金給付事業や町内事業者及び住民に対する各種給付金等の支援事業の皆減に伴い、行政コスト計算書の移転費用（補助金等）が前年度と比較して大幅に減額となっています。

4 偶発債務

(1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況

該当なし

(2) 係争中の訴訟等

該当なし

5 追加情報

財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

① 連結対象会計

会計名	区分	連結の方法	比例連結割合
国民健康保険特別会計	地方公営事業会計	全部連結	—
介護保険特別会計	地方公営事業会計	全部連結	—
後期高齢者医療特別会計	地方公営事業会計	全部連結	—
下水道特別会計	地方公営企業会計	全部連結	—
浄化槽設置管理事業特別会計	地方公営企業会計	全部連結	—

② 連結対象団体

団体(会計)名	区分	連結の方法	比例連結割合
秩父広域市町村圏組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	9.46%
埼玉縣市町村総合事務組合 (消防災害補償事務)	一部事務組合・広域連合	比例連結	0.781%
埼玉県後期高齢者医療広域組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	0.112%

彩の国さいたま人づくり広域組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	※
有限会社果樹公園あしがくぼ	第三セクター等	全部連結	—
株式会社ENgaWA	第三セクター等	全部連結	—
社会福祉法人横瀬町社会福祉協議会	第三セクター等	全部連結	—

※彩の国さいたま人づくり広域連合規約第 18 条別表に定める構成団体の経費負担割合に基づき、科目毎に按分率が異なる。

- ③ 一部事務組合・広域連合は、各構成団体の経費負担割合等に基づき比例連結の対象としています。
- ④ 第三セクター等は、出資割合等が 50%を超える団体（出資割合等が 50%以下であっても業務運営に実質的に主導的な立場を確保している団体を含みます。）は、全部連結の対象としています。ただし、出資割合が 25%未満であって、損失補償を付している等の重要性がない場合は、比例連結の対象としていない場合があります。
- ⑤ 地方自治法第 235 条の 5 に基づき、出納整理期間が設けられている団体（会計）においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない団体（会計）と出納整理期間を設けている団体（会計）との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したもものとして調整しています。

⑥ 過年度修正等に関する事項

貸借対照表のインフラ資産の土地の一部について、下水道事業会計で計上されていること及び投資及び出資金において、「その他」に計上すべき出資金が、「出資金」に計上されていることが判明したため、本年度にて修正しています。